

▼シオゾール注 [注]

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】金チオリンゴ酸ナトリウム Sodium Aurothiomalate 【分類】水溶性金製剤

【単位】▼10mg・▼25mg/A

【常用量】10mg から増量して投与（添付文書参照）

【用法】週1回もしくは2週に1回筋注

【透析患者への投与方法】腎障害のある患者では禁忌で、腎不全患者に投与した報告がない（5）

【その他の報告】避ける（3,12）

【保存期 CKD 患者への投与方法】腎障害のある患者では症状の悪化及び重篤な副作用があらわれることがあるため禁忌（1）

【その他の報告】GFR>50mL/min で腎障害あり：常用量の50%に減量、GFR<50mL/min：投与を避ける（3,12）

【特徴】作用機序不明。ラットアジュバント関節炎に対する効果、免疫反応に対する影響、マクロファージや多核白血球の貪食能抑制作用、リゾゾームに対する作用等が報告されている。

【主な副作用・毒性】間質性肺炎、血球減少、肝障害、ショック・アナフィラキシー、末梢神経障害、ネフローゼ症候群など

【モニターする項目】血液検査、肝機能検査、腎機能検査及び尿検査

【F】64% [im] (Waller ES, et al: Res Commun Chem Pathol Pharmacol 37: 33-47, 1982)

【代謝】投与された金塩は速やかに金成分と有機成分に分離され、異なった代謝を受けると考えられる（1）

【排泄】尿中未変化体排泄率35% [10日間]、糞便中排泄率9.4% (Waller ES, et al: Res Commun Chem Pathol Pharmacol 37: 33-47, 1982) 個人差が大きいが約70%は尿中に、30%は糞便中に排泄される（1）尿中に70%糞便中に30%排泄されるが、長期間にわたり60日間で43%、250日間で25%が排泄される（Gottlieb NL, et al: J Rheumatol Suppl 8: 99-109, 1982）尿中未変化体排泄率60~90%（12）【CL】7.0mL/kg/日（1）

【t1/2】25.11日（1）12.5日（Waller ES, et al: Res Commun Chem Pathol Pharmacol 37: 33-47, 1982）6日（Gottlieb NL: J Rheumatol Suppl 8: 99-109, 1982）250日（12）

【蛋白結合率】95% [Alb]（1,12）

【Vd】0.26L/kg（1）5~9L/kg（12）

【MW】390.08, 368.09

【透析性】蛋白結合率が高いため透析では除去されにくいと考えられる（5）

【OW係数】0.002（1）

【更新日】20200716

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。